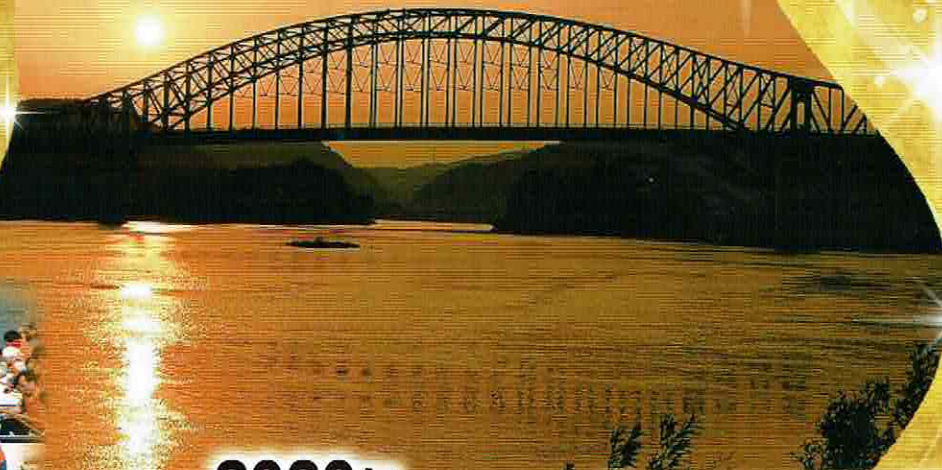


第29回 全国川サミット in 一関

くがね
黄金花咲く北上川 ～悠久の歴史と未来～



2020年
10月16日(金)・17日(土)

10月13日(水)～16日(金)

北上川の歴史
パネル展示

入場無料

会場 一関文化センター 展示室
10:00～16:00

会場 16日 ベリーノホテル一関 (関係者のみ) 入場無料
17日 一関文化センター 大ホール

ご来場のお客様へ(新型コロナウイルス感染症予防へのご協力をお願い)

- 「咳エチケット」を守り、マスクの着用をお願いします。
- 「密」にならないよう、入退場時等は、周囲の方との間隔をお取りください。
- こまめな手洗い・手指消毒のご協力をお願いします。
- 発熱や咳の症状がある方、体調に不安がある方等はご来場をお控えください。
- 入場の際、「お名前・ご連絡先」等のご記入をお願いする場合がございます。

主催 全国川サミット連絡協議会、岩手県一関市(第29回全国川サミット in 一関実行委員会)

後援 国土交通省東北地方整備局、岩手県、宮城県、一般社団法人東北地域づくり協会、一関市教育委員会

協賛 東北直轄河川治水期成同盟会連合会、北上川上流改修期成同盟会、北上川改修促進同盟会、北上川ダム管理協議会

事務局 一関市、公益財団法人リバーフロント研究所

お問い合わせ 第29回 全国川サミット in 一関実行委員会事務局
(一関市建設部治水河川課) TEL 0191-21-8501



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

たたら製鉄の歴史紹介

大原小 6年生 全国川サミットで発表へ



一関市大東町の大原小学校の6年生21人は、16日から2日間の日程で一関文化センターなどで開かれる第29回全国川サミットin一関(実行委主催)で、「大原の歴史探訪と鉄作り」と題した事例発表を行う。17日の本番を前に児童は大原地区に伝わるたたら製鉄の文化を多くの来場者に伝えようと、精いっぱい練習に励んでいる。

たたら製鉄で精製した。発表では大原地区での鉄作りの歴史のほか、実際に児童が取り組んだ砂鉄採取やたたら製鉄などの様子をスライドで映し出し、一人ひとりが映像に合わせて作業の様子や体験を通じての感想や分かったことなどを述べる。

13日は総合的な学習の時間を使って発表練習に取り組んだ。児童は来場者に地元で受け継がれてきた鉄作りの文化を伝えようと大きな声で早口にならないように注意しながら本番に備えた。

勝部修梧君(11)は「見に来た人に大原地区のたたら製鉄の文化を伝えたい。本番では大きな声で練習してきたことを発表したい」と意気込んでいる。担任の佐藤真也教諭は「子供たちには地元の歴史に誇りを持ち、古里の文化を来場する全国の人たちに伝えてほしい」と話している。

全国川サミットin一関での事例発表に向けて最後の調整を行っている大原小の6年生

同校の活動は同町内野地区で受け継がれてきた製鉄の文化継承に取り組んでいるボランティア団体「ホッパの会」が主導し、旧内野小学校時代から数えて今年も22回目となった。今年も児童が8月に地元の砂鉄川で砂鉄採取体験を行ったほか、9月には集めた砂鉄を